東京ジャーミイ金曜日のホタバ

2006 年 3 月 10 日

布教と訓戒の責任

親愛なるムスリムの皆様。人間は、多くの特性において他の被造物とは異なる存在です。この特性のうち最たるものの一つが、知性です。知性は、人間が正しい道を見出すための最も重要な能力です。ただし、知性だけでは、人が真実を見出すのにいつでも十分というわけではありません。だからこそ崇高なるアッラーは、正しい道を示すために多くの預言者を遣わされました。預言者たちが遣わされたことによって、社会に、布教、宣教の必要性を示されたのです。

親愛なるムスリムの皆様。人間は、その本来のあり方により、常に布教、訓戒を必要とします。「だが訓戒しなさい。訓戒は信者たちを益する。」（撒き散らす者章第 **55** 節）という章句は、このことを示しています。真の苦痛、困難な問題に直面した心は、慈しみを含んだ神のメッセージにやすらぎを見出します。人間に命を与え、生と死、存在と無、現世と来世に意義を与える神のメッセージに、心が開かれてさえいれば。

私たちの教えイスラームは、善と徳を広めることにおいて、また悪と戦うことにおいて、全ての個人個人に責任を負わせています。「あなたがたは、人類に遣された最良の共同体である。あなたがたは正しいことを命じ、邪悪なことを禁じ、アッラーを信奉する。」（イムラーン家章第 **110** 節）という章句は、この責任を明らかにしているものです。預言者ムハンマド（彼の上に平安あれ）も、「あなた方のうち、悪事を眼にした者は、もし力が十分であればそれを手で正しなさい。それには力が及ばないのであれば、言葉で正しなさい。それにも力が及ばないのであれば、それを心で正しなさい。信仰が必要とする最も根本的な責任感への認識とはこのようなものである。」とおっしゃられておられます。だから、私たち皆が、配偶者、子どもたち、隣人、友人たちに対し、一つの責任をおっているのです。その責任を果たすなら、悪事や不道徳さはその基盤を見出すことができないでしょう。根を下ろすことができないでしょう。この責任が忘れられていれば、そこに出現する否定的な出来事によって、社会全体がつけを払わされることになるでしょう。世界への慈悲として遣わされた預言者ムハンマド（彼の上に平安あれ）は、注目すべき形で、悪と戦うことを示されています。「私の力がその手にある、アッラーに誓って言う。善を行い、悪を妨げなさい。そうでなければアッラーはあなた方に社会的な混乱を与えられる。それから救われるためにあなた方は懇願するが、そのドゥアーは受け入れられない。」

親愛なるムスリムの皆様。人間は、過去に預言者を必要としてきたように、こんにちにおいても、宗教を、宗教の命令と禁止事項、美点を人々に説き、また言うことと実際の行いが違わない人々を必要としています。今日のフトバを、布教、宣教の根本的な項目を含んだ章句で締めくくりたいと思います。「英知と良い話し方で、（凡ての者を）あなたの主の道に招け。最善の態度でかれらと議論しなさい。あなたの主は、かれの道から迷う者と、また導かれる者を最もよく知っておられる。」（蜜蜂章第 **125** 節）